

## 『オミクロン変異に備える』

いよいよ年末家族例会が近づいてきましたが、ここに来て連日、新型コロナウイルス新規変異株である「オミクロン株」が不安を煽っています。

この変異株はまだ遡ること 1 ヶ月もたっていない 11 月 11 日にボツワナで初めて検出されました。その後南アフリカでこれまでのデルタ株にとって代わり高率に検出されており、デルタ株よりも感染力が強い可能性が指摘されています。さらに、アフリカ以外の世界各国からも報告が続き、日本でもナミビアからの入国者 1 名から検出されました。日本は、ご承知の通り 11 月 30 日から水際対策として新規の外国人の入国を禁じています。

このウイルスはスパイクたんぱく質の変異が 30 か所以上に及び、これにより感染力の増強、再感染のリスク増加、そして免疫回避(すなわち既存ワクチンが効かなくなる)の可能性が危惧されています。

一方、現時点ではウイルスの重症度が高まっているとの報告はないようです。

いずれにせよ、まだ詳細がわからないウイルスであります。

今私たちにできることは、これまで同様のスタンスで油断することなくまた過度に恐れることなく、マスク、換気、消毒、三密を避けるなどの対策を継続することであると考えます。

